

自分らしい住まいが欲しい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたにA&C

A 15 C



□家庭訪問「土間力」
□大阪R不動産 業務日誌／アツい物件カタログ
□連載・ニッポンの住
・アートアンドクラフトの輪
・街だのな
・まだがんばってます！
・OSAKA WOW!!

発行日 2013年7月25日
発行人 中谷ノボル アートアンドクラフト
編集 岡崎麗 竹内厚 (Re:S)
写真 増田好郎 パンリ
デザイン 有佐祐樹 (marq mew)

制作・発行 株式会社アートアンドクラフト
550-0003 大阪市西区京町堀 1-13-24-1F
電話：06-6443-1350
営業時間 10:00～18:00 水日祝休

一級建築士事務所、宅地建物取引業、建設業、古物商許可
(社)近畿地区不動産公正取引協議会会員

均質化されていない住まい
みたらしい都市居住のスタイル

Arts&Crafts

あらたな視点で再発見！
不動産のセレクトショップ
realosakaestate
大 阪 R 不 動 産

TOLA

📍 HOSTEL 64 Osaka

編集後記

A&Cでは近年サバティカル休暇と
いうのを導入しています。
sabbatical leaveとは？欧米から始
まった長期休暇制度で、使途自由、
期間は最低1ヶ月以上。休息するだ
けでなく当人が不在になることで、
後任の成長を期待できるという側
面も。ともあれ、みなさまもEnjoy
your summer vacation!!

ACBとは

パッケージされたふつうの住まいや旅では満足できない！
というひとたちに向けてリノベーションや、大阪R不動産や、
ホステルロクヨンをやっているアートアンドクラフト社が
発行するフリーペーパーです。

自分らしい住まいが欲しい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたにACB

ACB issue 15

□家庭訪問 「土間力」	02
中務さんの家@大阪市西区	
□大阪R不動産 業務日誌／アツい物件カタログ	07
□連載	
・A&C News	06
・ニッポンの住 015 「沖縄の住」	09
・アートアンドクラフトの輪 002 猪原秀彦／element	11
・まだがんばってます！ 013 「土間」	13
・OSAKA WOW!! by HOSTEL 64 OSAKA	13
・街だのな 第10回目 by 辺口芳典	14

「土間力」

中務さんの家@大阪市西区



取材中も家の前を通る人がみな二度見!! そりゃそうです。ここは大阪市内どまんなか。
タイムスリップしたみたいないな佇まいの古い家に、だだっ広い土間。
そこで何やら楽しげなこの家族の姿！ 街中でこんな住まい方、アリですか？

家族構成：夫婦（ともに38歳）、長女（19歳）、長男（15歳）の4人家族
住まい：木造戸建て（2階建、延床100㎡、築年不詳）をリノベーション
設計担当：一森典子 コーディネーター：中川重紀子

中務さんインタビュー

— まずはこの土間。1階の床面積の実に1/3(約15㎡)も占めていますが、これはリノベーションで作られたものですね？

「工房って呼んでいます。小さな頃から工作が好きで、大人になっても興味冷めやらず、あれこれずっと何かを作っていました。僕は生まれも育ちもこのあたりなのですが、住むにはやはりマンションが便利で、場を持てずにいたことに長年不満がたまっていたんだと思います。いつかは田舎！と妄想もしたけれど、共働きだとなかなか…。それでこの家を見つけた時に衝動的にというか、直感でした。やっと工房が持てる！これしかないって」

— どうやって物件を見つけましたか？

「チラシです。古家付土地って書いてあって、なんとなく見に行ってみたんです。入って驚いたのは、和室天井の竹棧、書院作りの棚、今では手に入らないガラスの入った木製建具。もともと

と古いものが好きなのもあって、壊してしまうにはもったいないくらい、私たちには残したいものたちであふれていました」

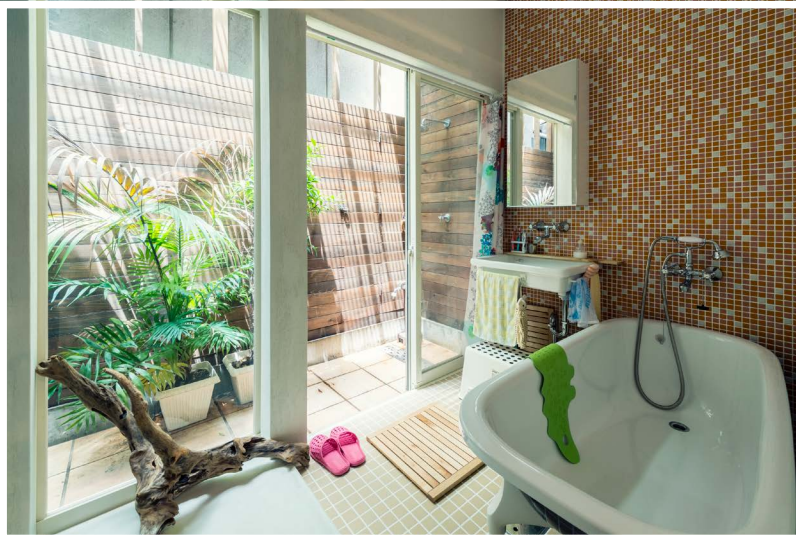
— 築年不詳。不安はありませんでしたか？

「どうしてもここに住みたいと飛びついたものの、フタをあけてみると電気・ガス・水道がきていない

土間 | 塗料がこぼれてもそのままOK、汚れていいのが土間。



2階 | 建物が密集しているので採光のためトップライトを。従前の雰囲気を残した部分と、新たに作った部分が混在している。



浴室 | 置き型バスhtubや露天シャワー、そこに緑がわさっと… マンションじゃできないことばかり。夏の外シャワーは最高！

驚きの物件で…本当に住めるようになるのかしらと助けを求めたのがA&Cさん。安心して暮らすこと、できるだけ今の雰囲気を残すこと、そして、コストをはかりにかけながら、何度も何度も建築士の方と話し合いを重ねました」

— 古いもの好きだけではないオリジナルな住空間ですね。

「リノベーションをするなら、とことんおもしろい家にしたくて。電機メーカーで研究や開発の仕事をしているのですが、既成品では制約があって作れないものを自分たちの思うままに作りたいというのが根っこにあるんです。自分で決めたことひとつひとつが図面に反映されて、現実になっていく過程と一緒に体験できたことが楽しかった！」

— 職人もまじえた、現場打ち合わせのみんで作りあげるといふノリが高校の文化祭みたいだったと聞きました。実際にくらしてみてもどうですか？

「こんな街中なのにヤモリが現れた時は、外と地続きなんだって再確認しましたね。暑さ寒さは分かっていること。それよりも、いくら散らかしても気にならないのが最高！ここがリビングかというくらい自然と工房に居ることが多いです。

子どもたちにも小さいうちから慣れさせたくて、刃物や火も使わせています。いつか子ども相手の工作教室や理科教室もやってみたいです」

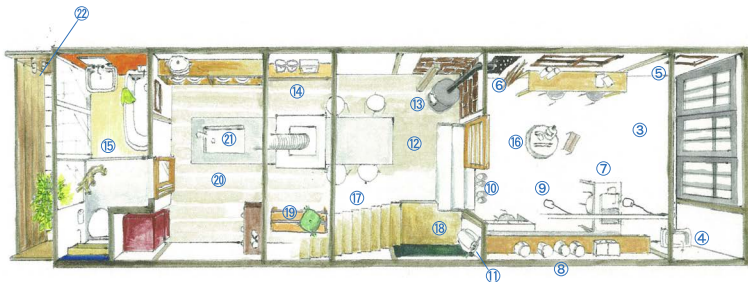
リビング | 柱と柱の間を行き交う手作りのローブウェー。棚は自分たちで作りました。



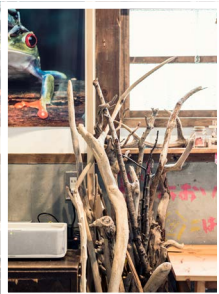
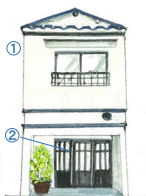
子ども部屋 | とび跳ねたり転げたり、おおはしゃぎが許される部屋。



中務さん家の間取り



1 階部分



拾ってきた流木も貝も工作の素材に。
台風後の大阪南港が狙い目らしい。

- ①ボロボロだったけど、とにかく外観に惚れた。塗り直し、生まれ変わった!
- ②元からあった木製のガラス戸。1枚ずつきれいに洗い、寸法を調整し、防犯のため内側から金網を張って再利用
- ③車を停める想定だったが、もはや余地なし。目一杯を工作のために専有
- ④家にながらず使える手洗いシンクが何かと大活躍
- ⑤科学館で年に1度配布されるポスターが好き。今年のテーマは「鉱物」
- ⑥拾ってきた流木と、それを使って作った「おかもち」を木炭などの燃料入れにしている
- ⑦大工さんが作った「字カウンター」の短辺が、ずっと欲しかった糸ノコの定位位置
- ⑧棚には工作の素材。壁面の穴あきボードには道具。カウンターでの作業をアシスト
- ⑨どこでも電動工具が使えるよう、天井配線ダクトから電源コンセントを吊るしている。実験室みたい!
- ⑩土間から上がる階段、その階段には床下に通じる小さな扉が。長い釣竿なんかはここにしまっている
- ⑪工作作業は木くずだらけになるので家族それぞれマイナギを持っている
- ⑫天井を落としたら現れた2階の床裏を赤く塗った。迷ったらここに合わせて赤をセレクトすることが多い



日用品や遊び道具、とにかく、無いもの足りないもの、思い浮かんだものは作る。



夏が来ると、家族がそれぞれ手彫りで今年の島ぞうりを製作。

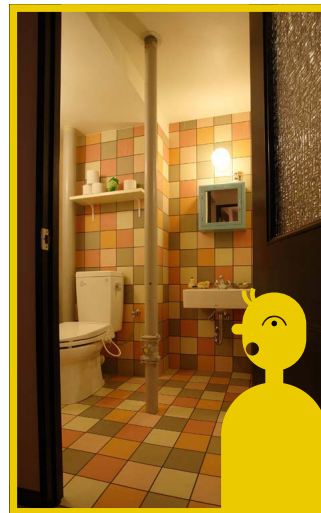
- ⑬やりたかったことのひとつ、ベレットストーブ。試算だったのは燃料の手配など。思いのほか面倒で、エコかどうかは疑問なところ
- ⑭キッチンまわりの食器やレンジを置く棚は、サイズに合わせて自分たちで作りました
- ⑮リノベーションするなら絶対やりたかったおもしろい風呂。あまりにイメージ図どおりで描いた自分たちがびっくり
- ⑯古道具が寄ってくる? 実家に眠っていたものや、売主さんから譲ってもらった火鉢なども
- ⑰暗くて傾きがとにかく急だったので、天窓から光が落ちてくるような設計のゆるい階段に掛け替えた
- ⑱階段横の壁は黒板に。ここに立って見上げると天窓がある
- ⑲自作のベンチはこの家で初めて作ったもの。階段下の籠もれる感じと相まってくつろげる居場所
- ⑳幅広のざっくりした雰囲気足場板をLDKの床に
- ㉑趣味の釣りで大物を釣り上げる想定でシンクは大きく、両側から料理ができるように作ったものの、いまだ大物ゲットならず、
- ㉒周りをビルに囲まれた中で露天風呂ならぬ露天シャワー。グレーチングの天井でこんなに狭スペースなのに驚きの開放感

A&C News

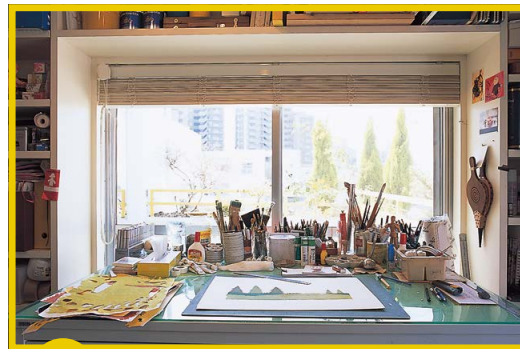
中務さん家の設計打ち合わせでは「それ、面白い!」が合言葉だったそうです。住まいづくりの過程で、息がぴったり合った時のひらめきがカタチになる瞬間ってどんなシーン? スタッフに聞いてみました。

建築士 合田昌宏 ◆Pタイルの冒険◆

当時、A&Cのオフィスがあった近代建築、中之島ダイビルに打ち合わせに来たUさん。床を見て、これやりたい! と。80年という経年によるタイルの艶っぽさは再現できないし、似たようなタイルを探しても高くつく…と悩んだすえに、ひらめいたのが我らのマチコ! 我が社でよく使うPタイルです。色のバリエーションが豊富で、ええ〜感じに古びている。なにより良心的な価格。工場に交渉して4分の1サイズにカットしてもらったら、よりダイビルの感じに近づけることができた。苦労したのは6色のランダム感。1枚ずつ配置を指定しました。その手間は通常の5倍で、職人さんも貼るのに苦戦していました。僕はいつもお客さんが持ってきたイメージをそのまま再現するのではなく、イメージを残したままオリジナルを創りたいと考えますね。Uさんの家では、床だけでなく壁まで貼り上げたことは技術的にもデザイン的にも挑戦でした。



建築士 一森典子 ◆本棚でくりぬかれた窓◆



設計でやってみたいことは色々あるのですが、実現するには住まい手の賛同と、そのストックに似合うことが最大の条件。この二つをクリアするのがなかなか大変なのです。だから、結構長い間、胸の内に秘めていることが多いです。運命的な出会いになるのか、あるいは私の見込み違いか…そこにあなたが立ったらとても絵になると思いますが…ダメですか…。採用された時は天にも昇る思いなのですが、爆発的に嬉しがるのも子供っぽいのでしっとりニコリしているつもり

です。ちなみに、この「窓のある本棚」は、映画で見た「博士の書斎」がイメージの源です。知的な空間の中にポコリ窓があって、そこからの風景や日差しが何とも言えない空気感を漂わせていました。「家なんだけと家じゃない、仕事場だけと仕事場じゃない感じ」。こんなフレーズも別で住まい手からあったものですから、混じり合っ

てこの「窓のある本棚」が思い浮かんだのです。

大阪R不動産では決してバランスが取れているわけではないけれど、
ある部分が突出して魅力的な物件を集めて紹介しています。

スタッフ業務日誌

6月〇日 新人さんがやってきた

大阪R不動産に新スタッフがやってきた。僕が指導係に任命された。僕ももう新人ではなくなったのだと気が引き締まる。1年間、大阪R不動産で学んだことを今度は僕が教えるのだ。

6月■日 ネットでの物件の探し方の伝授

今ではネットで部屋探しが当たり前の時代だが、不動産屋も不動産業者専用のサイトで物件を探す。いろんな条件を入力して、星の数ほどある物件の山から目当てのものを絞り込むことができる。が、不動産のセレクトショップである大阪R不動産に掲載できる条件を満たす物件は簡単には見つからない。そんな「大阪R不動産」の物件を探していくつかのコツを新人さんに伝授する。

物件探しのコツ その一／鳥になる

大阪R不動産に掲載できる物件を見つけるには「鳥の目」を持たなければならない。例えば、公園に面した物件を探したいとする。ネットで物件を探す前に僕はGoogle Mapを使う。ただ、普段よく使うのは平面地図ではなくて航空写真だ。航空写真にすることで、大阪の街に青々とした葉っぱが生い茂る公園がどこにあるのか探しやすい。空の高いところで獲物を探す鷹のように、大阪の街の空から緑を探し、見つけたと一気に急降下して公園の周辺の住所を調べる。あとはネットでその住所周辺の物件の資料をしらみつぶしに探す。運がよいと公園に面した気持ちのよさそうな物件が見つかる。

物件探しのコツ その二／犬になる

「リノベーション」という言葉が社会に浸透してきた昨今、不動産の物件資料にも「リノベ済み物件！」というような言葉がよく書かれている。その言葉に釣られて物件の取材に行くと、痛い目にあうことがある。ただ小綺麗に「リフォーム」されただけだった。よくわからない壁紙が貼ってあるだけで、写真すら撮る気にならないことがある。こんな風に惨めな気持ちで帰らないために、羊の皮を被ったオオカミを嗅ぎわけるような、犬の鼻を持たなければならない。そのためには物件資料の雰囲気から、なんとなくわかるようになるまでひたすら体当たりしなければならぬ。



中土 喜博

スペインの巡礼の旅で900キロ歩くほど、歩くことが好きですが、
物件探しの相棒はレトロな自転車の「フローレン」です。
ときどき物件が人に見えます。

6月〇日 物件取材のコツ

前日に伝えたコツを新人さんはきちんと理解して、「大阪R不動産」の物件を見つけてきた。新人さんの初めての物件の取材について行って、写真の撮り方を教える。サイトを見てくれる人に物件の魅力がちゃんと伝わるように撮ること、だけど、実際以上に物件が魅力的に見えてしまうような詐欺写真を撮ってはいけない。お見合い写真のようなものだから、会ってみてガッカリというのは誰も幸せにならない。

6月△日 物件に惚れたら即プロポーズ

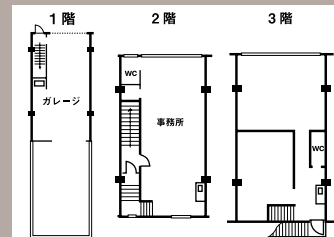
ネットで不動産が探せる時代になったとはいえ、まだまだネットには掲載されていない魅力的な物件が大阪には眠っている。そういった物件に道で出会ったら即プロポーズ。つまり、家主に会えば直接話して、大阪R不動産に物件を掲載してもらいというお許しをもらう。新人さんに先輩の背中を見せようと思って、前から気になっていたレトロなビルのドアを叩いた。結果は、惨敗だった。相手は僕の3倍以上歳をとった人だった。大阪R不動産について説明をして、建物の魅力を紹介させて欲しいとお願いした。すると、「インターネット使ったことないから、よくわからないことはしたくないの。お客さんのツデで入ってもらえるから大丈夫。ごめんね」という返事が返ってきた。めげずに紹介させてほしいとお願いしたが、返ってくる言葉は変わらない。埋めようのない溝を感じて撤退することにした。悔しさと無力さを感じつつも、手ぶらで事務所には帰りがたくなかったので、川沿いを走って他に突撃取材を敢行できないか、探して帰る。

こんなふうに大阪R不動産に掲載したい魅力的な物件があっても、いろんな事情があって紹介できないことがある。だからといって、まだまだあきらめてはいない。物件とそれを魅力的だと感じのお客さんが出会えるように、「橋」をつくって橋渡しすることが僕たちの使命なのだから。



古い映画に出てくるような見た目の華やかさはないけど
実力や魅力がある俳優さんのような「イブシ銀」ビル
です。外観に華やかさはありませんが、大阪の都心
なのに、倉庫あり、レトロな建具あり、屋上あり、
さらに倉庫の奥には80平米以上の専用庭あり！と
かなりの実力派。

そして、「現状渡しで改装OK」。しかも、この
「イブシ銀」な古ビルを甦らすような内容の改装なら、
オーナーさんが賃貸条件の相談に乗ってくれます。
都心で倉庫あり、屋上あり、広い専用庭ありの物件を
ガッツリ改装して、ご機嫌に仕事して生活したい方に
オススメです。



所在地：大阪市西区立売堀1丁目
賃料：50万円
面積：161.96平米
最寄り駅：地下鉄四つ橋線・中央線「本町駅」徒歩4分、
地下鉄御堂筋線「本町駅」徒歩8分
保証金：150万円、共益費は賃料に含む
建築構造：鉄筋コンクリート造3階建
取引態様：仲介
築年：1958年
備考：*各階面積 1F=56.19平米、
2F=49.58平米、3F=56.19平米
*専用庭=85.95平米
*指定火災保険必須
設備：キッチン、トイレ、浴室(3F)

お問い合わせは大阪R不動産サイトの

同名物件の問合せフォームからお願いします。

www.realosakaestate.jp



中谷ノボル：アートアンドクラフト代表。建築、不動産、旅が仕事のフィールド。2010年にHOSTEL 64 Osakaを開業し、2011年に大阪R不動産の運営スタート、いま沖縄の建物をリノベーション真っ只中。1級建築士。船舶は2級。太陽好き。

2012年、アートアンドクラフトは沖縄事務所を開設した。以降、沖縄の不動産建築シーンを1年ほど見て、知ったこと感じたことをこの時点で書き留めておきます。

沖縄県の面積は決して大きくない。そこに奈良県や滋賀県と同じくらいの人数が暮らしている。だから、人口密度が全国9位と思いのほか高いが、那覇以外の街で過密だと感じたことはない。県には160もの島があるものの、人口の約9割が沖縄本島に暮らしている。沖縄本島がどれくらい大きいかというと、淡路島の約2倍。長さは南北に100キロ以上もある。県庁所在地である那覇は沖縄本島の南部にあり、空港や港、そして企業や人口も那覇およびその周辺に集中している。アメリカに統治されていた戦後、1950年頃からたった20年間で那覇は急激に都市化した。多くは本島北部地域の人々が離農し、新天地を求めて那覇へ大量移入した。那覇ではこの時代に住宅が大量に建てられた。が、すでに築後40年以上が経過し、多くが建て替えられている。不動産市場で1960年代の物

件情報を見かけることもあるが、再生してまで使いたい建築ストックになかなか出会わない。その中で、「外人住宅」とよばれるアメリカ人向けに建てられたコンクリート造の平屋には可能性を感じる。ただし、外人住宅是那覇ではなく中部地域に多く、カフェやサロンとして使っている人も多い。大阪の長屋や京町家が住まいだけでなく店舗として活用されたのと同様だ。正直、外人住宅は沖縄で住居として使いにくい。断熱もしていないフラットな屋根は夏場に灼熱地獄だし、高床でない土間の床は虫が這って入ってくる。それでも、築古の外人住宅が高値（借地が多い）で取引されているのは、スペックには表れない魅力を感じる人が多いからだろう。

1972年、沖縄は日本に復帰した。那覇の都市化と急激な人口集中も同時期に一段落する。この頃から分譲マンションが供給されるが、自分的には地元の中小デベロッパーが建てたマンションが熱い。花ブロック（穴が空いたブロック）をベランダに使い風通しをよくするなど設計が独特だ。マンションだけでなく、この時代の

戸建にも魅力を感じる。沖縄は個人住宅でも「コンクリ家」と呼ばれるコンクリート造が多い。外壁は真っ白な塗装がスタンダードだが、薄緑やヴィヴィッドな水色で塗ることもある。かつては水不足で苦労したらしく、屋上に貯水タンクが残る。鉄道がなく早くから車社会だったので、1階を駐車場にしたピロティ形



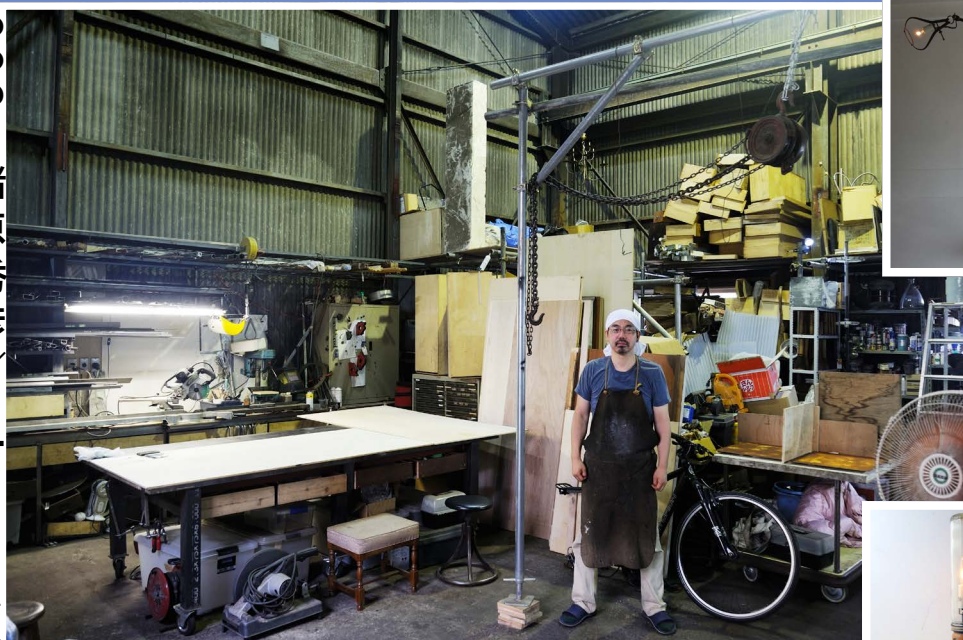
式の家も多い。アメリカ統治時代の影響なのか、天井や出入口が高い家もある。湯船につかる習慣がなかったのも、浴槽がないシャワーだけのバスルームも多い。この時代のマンションや戸建てが壊されていく前に、いいストックを発掘し、できるだけ再生しておきたいと思う。

アートアンドクラフトでは、すでに沖縄の建物をリノベーションし始めている。知るかぎり沖縄にはまだリノベーションを専業にする会社がない。だから、大阪や東京で人気のスタイルを持ち込んでリノベーションするだけで、カッコいい住宅ができた最初は喜んでもらえるかもしれない。でもそれは街から沖縄らしさをなくすことでもある。そもそも、沖縄らしさって何？ かつて大阪をテーマにした喫茶「ダイオオサカ」や、観光宿「HOSTEL 64 Osaka」を開業するにあたり、大阪らしさについて考えたことがある。だが、大阪は多面的でとうていひとつのイメージに括れないというのが当時の結論。沖縄に来たばかりのよそもん（沖縄では、ないちゃーと呼ばれる）が、リアルタイムの沖縄らしさを表現できるとも思えない。が、理想はもっている。沖縄の人が沖縄らしいと感じる住宅やビルをリノベーションでつくりたい。そんな仕事ができたらホントうれしいし、地元の人々にも歓迎されると思う。がんばりまっす！

アートアンドクラフトの輪

いいね！友達になりたい！と、A&Cが勝手に共感した人々を訪ねます。 文／岡崎龍（アートアンドクラフト）

002 猪原秀彦／elementの鉄具



「動いていたアンティーク屋の片隅に古いシャツケースの引出しだけになったものが20杯以上ずっとあって、10年間全く売れなかったんです。枠がないだけで使い勝手が悪いから、誰も買わない。いい引出しなのになあ…と思ってながめていました。」

そんな風に話しはじめた猪原秀彦さんは、古道具を素材にして、見たことのないフォルムを生み出す工房「element」を主宰している。どんな発想からこんなモノを作ろうと思ったんだろうってずっと不思議でした。そんな猪原さんの工房を訪ねます。

— 猪原さんは何をされている方ですか？

作ったり直したりその間と云って。「作ること」全般に興味があったので、その周辺をクラゲみたいにずっと漂ってきたんです。もとは彫刻をずっとやっていたのですが、生活のためにアンティークの修理を手伝うようになりました。元・家具職人のおじいちゃんがやっていたりするような職場だったんですけど、続けるうちに、その人たちができない鍵の修理なんかを「できる？」と聞かれて「できるかも」ってやってみて、を繰り返すようになりました。それから派生して、シャツケースの例のように、古いものを素材として考えるようになりました。自分でもそれがアンティークのひとつの生きる道なのではないかと思うように。モノに手を貸すという感じ。あふれるモノを見て、もう一から作らなくてもいいかなと思っていた頃だったので、古道具屋の片隅にあるものを活かせるような工房をやりたいと考えようになりました。

— そして、elementとして独立されたんですね。オーダーを受けて作ることもありますか？

はい。はじめてのことも多いです。例えば、「こんな窓を作りたいんだけど…」という相談を受けて、窓は経験ないけどできるかなあと思って、作ってみました。お客さんのイメージから、ラインの細さやバランスの美しさを意識してね。結果、とても喜んでくれた。たぶん、鉄工所だと重厚さを出すんでしょうけど、でも、隙間というか、そういう鉄工所ではないような鉄工をやりますよという感じですね。その感じは今も変わらなくて、直したい時に修理してもらえるとわかんないとか、こんなものが作りたいけどどこに頼んだらいいかわかんないという時に頼んでくれるような存在になればいいなと。

— 素材は鉄が多いですか？

鉄が慣れているし、好きです。木材で木工家ほどの仕事をする自信も興味もなくて。そういえば、木工家さんって、なんであんなに多いのか不思議ですね。日本の家具って図面を描かないと誰も作ってくれないけど、イタリアではデザイナーは図面なんか描かないですよ。ラフスケッチをモデラーに渡すだけ。デザイナーとプロダクトの間をつなぐ位置にモデラーがいて、形にできる技術とデザイナーの意図をくみ取れるモデラーが職業として成り立つ社会ができあがっている。そういうスタンスもありえるのに、日本ではみんなが作家になろうとする。モノを作るやり方の幅が狭いというか、もうちょっと作る裾野が豊かになっていけば、いいものもできてくると思うんですよね。

— 古道具を素材にしたシリーズが代表的ですが、古道具はどこで集めるんですか？

オークションもあれば、四天王寺や北野天満宮の市にも行きます。誰ももう使えないようなものを選びます。すぐにはインスピレーションが沸かないけど、とりあえず買って置くというのもある。露天のおちゃんには「そんなの買ってどうするの？花でもいけるの？」って不思議がられます。世に出せないモノをもっとこうしたらいいのに、あしらいたいのにって考えるんです。

— A&Cでも、以前は「リフォームとリノベーションって何が違うんですか？」とよく聞かれたのですが、その感覚に似ている気がします。リフォームは修繕で、リノベーションは再生なんですけど。

修理屋の仕事はあくまで再現であって、寸法を変えたり加工することがNGとされることも多いんです。でも、忠実に再現するだけでなく、提案しながら修理することがアンティークの未来にもつながると思うんですね。作ることと直すことは分かれていて、一から作るんじゃないし、直すことの方が簡単だと思われがちですが、全然そんなことない。むしろ作る技術がある程度ないと、本当に直すことはできないんです。だから、直すことは作ることのひとつのカタチ。そんな理由で、僕の居場所は、作ったり直したりその間なんです。

A&Cの棟梁が、大工になりたての頃は解体現場に放り込まれて、壊すことからやらされたという話を聞いたことがある。解体することで家の建てられ方がわかり、先人の仕事や工夫を体得するという。猪原さんの「直すことは作ることのひとつのカタチ」という行為とも、どこか重なるような気がしました。

猪原秀彦 element

1964年生まれ。生活に必要な道具を一点からカスタムメイドや修理、アンティーク古道具の再生リメイクまでを手がける工房elementを主宰する。これまで手がけた製品やリメイク例はHPでも紹介されている。
<http://www.element-handwork.com>

上・機械ハンドルと糸巻きを使ったアームスタンド
下・糸巻きと古いガラス瓶を使ったランタン



世界中から旅人が集う西区新町の宿、HOSTEL 64 Osaka (ホステルロクヨン)。
「大阪スゲー！ビックリしたよ」。フロント係が耳にした、街で外国人ゲストが体験した出来事とは…。

白地に紺色の幾何学模様、旅館やホテルでおなじみのあの浴衣が外国人ゲストの間ではダントツの人気です。「浴衣を買いたい」というリクエストに、船場センタービルやアンティーク和服店を紹介するも、なんだか腑に落ちない様子のゲスト達……聞くと、「こんなん欲しいねん」とレンタル用としてホステルに置いてある例の柄のものを指す。ポピュラーなわりに探すと売ってないようですが、お任せください！我々もちろんリサーチしています。



HOSTEL
64 Osaka

●レトロであたらしい
デザインホステル
1泊3,300円より
[http://
www.hostel64.com/](http://www.hostel64.com/)

さてこの浴衣、部屋着にしたいというゲストがほとんど。以前、長期滞在したイスラエルからの美人ゲストがナイトガウンさながらに浴衣を羽織って館内を行き来していた姿は、なんともアンニュイでした。しかし、中にはタウンユースとして求める人も。早速、浴衣に袖を通してフロントに来たアイルランドからの男性2人組。「今から自転車でミナミがぶらぶらしてくるわ！」とのこと。温泉街でしか見られない光景が受け入れられる、懐の深い大阪の街。

vol.13 まだがんばってます！

建物を解体して再生するリノベーション。その現場で生き残ったモノたちが語ります。

ちょっと待って待って待って——！
えっ、これで完成？
このまま使う？
わたし脱ぎっぱなし、まっばですか？
それならそうと言っておいてよ、わたしにも準備というものがある。せめて何か置きませんか？
あ、マットとかラグとかいいですね。えっ、土足でがしがし使いたいからこのままでいい？そ、そうですか…。



「土間」

マンションの施工において、下地となるモルタルやコンクリート面にカーペットなどを貼る際は、仕上げ材が浮かずきちんと貼れることが大切で、接着剤の置き方の重要性は低い。下地は下地であり、それを見せずに使うなどは全く想定外である。しかし、昨今のリノベーションでは、玄関土間を現して広くとり、自転車置場や作業スペースとして使うスタイルが人気となりつつあることを鑑みると、万事油断大敵であるといえよう。

「街だのな」第10回目

この道も、
あなたの街と続いている。
この夏も、
あなたの夏と続いている。

涼しい風の吹く夏の朝に、
冬の夢を見ている。

僕の吐き出した白い息と、
あなたの面影が続いている。

あなたの面影に、僕は勇気づけられた。
とても勇気づけられた。

あなたの情けない部分も、この街と続いている。

あなたの朝も、あなたの青空や白い雲も、
あなたの嘘も、あなたの変態も、あなたの誠実さも、
あなたの声も、
この街に続いている。 誰かの体温に続いている。